



研修員へのジャイアンツメソッドの実習風景



日系社会研修 野球指導者の人材育成

2018年度、2019年度

南米では、キューバ式・アメリカ式の野球が主流となっていますが、現地の日系社会では、青少年育成のために、礼儀やチームプレーを重んじ、基礎・基本に忠実な日本式野球を求める声が多くあります。しかし、日系人の世代交代が進むなか、日本式野球を指導できる人材が少なくなっている現状があります。

本研修では、中南米への移住者を送出した高知県で、四国アイランドリーグplusに所属するプロ野球球団「高知ファイティングドッグス」と連携して、同球団の元プロ野球選手の指導者の技術・経験、科学的知識に基づくトレーナーによる練習メニューなどのノウハウをいかし、野球指導の手法や地域密着型のチームマネジメント・球団運営についての研修を実施します。この研修にて、日系人の野球指導者が日本式野球を学び、日系社会とのつながりが深い高知県の人々との交流を通じて日本を知るとともに、帰国後に研修員が研修の成果を活用することで、南米の日系社会に日本式野球が普及することが期待されます。

～活動や目指す成果～

野球指導や球団運営の手法の理解

研修生が、研修を通じて、野球指導の手法や地域密着型のチームマネジメント・球団運営について理解します。

日本式野球の普及と絆の深まり

研修員が帰国後に研修の成果を活用することによって、日本式野球が中南米に広がるとともに、日本および中南米に移住者の多い高知県と中南米の日系社会との絆がより深まることが期待されます。